

衛生設備工事特記仕様書

I. 工事概要

工事名称：	古賀町学校給食共同調理場新築	工事
1) 工事場所：	粕屋町古賀町大字	字南原680他
2) 建物概要：	延べ床面積	2335㎡、他付属棟
主要構造	S造	地上 2階
防火対象物種別	消防法施行令 別表第	12項(4)
3) 工事種別	衛生設備工事	屋外
	給水設備	屋外給水設備
	給湯設備	屋外排水通気設備
	排水通気設備	排水処理設備
	衛生器具設備	
	消火設備	
	ガス設備	
	エア配管設備	
	蒸気設備	
	残棄処理配管設備工事	
	廃油配管設備工事	
	石鹸供給設備工事	
4) 設備概要		
給水設備	水源(町水)	
	ポンプ直送方式	
給湯設備	中央式給湯	熱源(蒸気)
	個別給湯	熱源(ガス)
排水設備	建物内の汚水と雑排水	分流式
	汚水	公共下水道
	雑排水	公共下水道
	雨水	開溝
	厨房排水	排水処理施設の後、公共下水道
衛生器具設備	大便器	ロートンク
	小便器	個別光電式洗浄弁
消火設備	屋内消火栓	
	粉末消火	消火器
ガス設備	液化石油ガス	(LPG 12000kcal/kg)
排水処理施設	現場施工形	

II. 工事仕様

- 1) 共通仕様
- 2) 特記仕様

① 一般共通事項

設計図の優先順位	1 現場説明事項	2 本特記事項	3 設計図	4 標準仕様書
現場代理人の資格	次の資格を有するもので経歴書および会社組織表を提出し、監理者の承諾を受けた者とする。現場代理人は常駐とする(原則として兼務は認めない)			
	●空気調和・衛生工学会設備士			
	●建築設備士			
	●管工事施工管理技士(・1級)			
設計図の縮小版機材など	●3部提出する機材などはメーカーリストによるものとし、請負者は契約後 30 日以内に監理者の指示に従いリストを作成し、承諾を受けたものを使用する。			
技能士の適用	●配管施工(建築配管作業)			
	●溶接士(JIS)			
機材などの検査	工場検査および工場試験を行う機器材料などは標準仕様書によるほか、次記項目とする。立会い時に要する費用は、すべて請負者の負担とする。			
監理者事務所	●別紙による			
工事用電力、水等	工事用および試験用電力、用水、排水、その他の工事に必要な設備の手続き、施工に要する費用および使用料金は、すべて請負者の負担とする。			
工事用仮設物	構内につくことが ●できる			
残土処分	●構外に搬出し適切に処分			
埋戻し土・盛り土	根切土中の良質土 + 山砂200H			
工事報告	月報を提出する。			
耐震措置	最上階、屋上および塔屋	1. 0	2階床以上	0. 6
	地階および1階	0. 4		
試算	機械については施工図に基づき請負者において静圧、揚程、騒音、振動、耐震強度などを計算し、監理者の承認を得て施工する。			

試験調整データ

測定項目	測定場所	
排水処理施設水質	給排水、ファンルーム 他5ヶ所	※引渡し後1～2ヶ月後
騒音	ファンルーム	
振動	給水主管、給湯主管	
水圧	給水主管、給湯主管	
管壁確認		
電圧値	3φ動力のすべて	

完成図書 竣工後、次記書類を作成し、監理者の承認を得て提出する。なお完成図は、監理者の承認を受けて竣工時に提出する。

提出書類	施工	設計者	合計部数
完成図	2	2	4
主要機器資料(図面・取扱説明書・試験性能記録)	2	2	4
管公署などの許認可書類	2	2	4
施工一式	2	2	4
施工図(製本)	2	2	4
装置全体の運転説明書	2	2	4
完成器具(キャビネット 約50枚)	2	2	4
完成装置の試験調整記録	2	2	4
A3版縮小図	2	2	4

その他

- 建築業者及びその他工種との打合せ及び施工取合いは厳密に行ったうえ施工図を制作する。
 - バルブボックス内及びP S内にも表示札を取り付けること。
 - 配管(ダクト)には、保員の指示により種別、水流(風流)方向サイズの表示を行うこと。
 - 管の埋設深さは、原則として次による。(公道部を除く)宅地内土被り400mm、車両通行部土被り800mm
 - 配管の保温、防露、埋戻しは水圧試験のあと施工のこと。
 - バルブボックス(量水器ボックス含む)の施工は下記による。
- コンクリート内埋設 15A～25A (埋設放水栓含む) 32A～50A
- 土中埋設 15A～25A 32A～50A 65A～100A
- 蓋+VP150φ+チップ敷
 - 蓋(V105)+VP200+チップ敷
 - 蓋(丸小)+保護コンクリート、150H+栗石100H+VP150φ
 - 蓋(丸小)+アクリ石(下)
 - 蓋(V102A)+300φ補助樹+保護コンクリート500口×150H+栗石100H
- 基本的に異種金属を接続してはならない。
 - 地盤沈下対策のため埋設管はすべて土間スラブより支持、又は外壁より支持をとること。

② 配管材料・継手

- 蒸気管(往復) ●圧力配管用炭素鋼管(黒SCH40)(高圧用溶接継手JISR2312を使用)
- 給水管 ●水道用硬質塩化ビニライニング鋼管(VB)(一般)50φ以下 ネジ[管端コア継手使用] 65φ以上はフランジ ●耐衝撃性ビニル管(屋外埋設)
- 給湯管 ●ステンレス管 (65φ以上はフランジ、50φ以下は モルツジョイント)
- 排水管 ●配管用炭素鋼管(白) 図示部のみ ●硬質塩化ビニル管(VP)一般 ●圧力配管用炭素鋼管(黒SCH40)(高圧用溶接継手JISR2312を使用) 図示部のみ ●硬質塩化ビニル管(VP) ●配管用炭素鋼管(白) ●外面ライニング鋼管(土中のみ) ●硬質塩化ビニル管(VP) ●配管用炭素鋼管(白) ●配管用炭素鋼管(白) ●外面ライニング鋼管(土中のみ) ●配管用炭素鋼管(白) ●硬質塩化ビニル管(VP)
- 通気管 ●ライニング管については、継手の施工方法について施工計画書を入念に作成すること。
- 消火管 ●その他配管については、施工計画書とともに配管加工工具の提出を求めた場合は速やかに提出のこと。
- 残棄管 ●水道用硬質塩化ビニライニング鋼管の切口には、油脂等を完全に切り除いた後、防錆材(日本ヘルメチックKKの「ヘルメシール55」又は同等品以上)を塗布すること。
- 廃油管 ●50φ以上のビニル管の防火区画貫通部前後1mはロックウール25n/m巻のうえ垂鉛鉄板巻とする。
- ガス管 ●厨房内立上り配管はすべてSUS製保護管を設け、コーキング処理する。
- エア配管 ●ライニング管については、継手の施工方法について施工計画書を入念に作成すること。
- 石鹸配管 ●その他配管については、施工計画書とともに配管加工工具の提出を求めた場合は速やかに提出のこと。
- 水道用硬質塩化ビニライニング鋼管の切口には、油脂等を完全に切り除いた後、防錆材(日本ヘルメチックKKの「ヘルメシール55」又は同等品以上)を塗布すること。
- 50φ以上のビニル管の防火区画貫通部前後1mはロックウール25n/m巻のうえ垂鉛鉄板巻とする。
- 厨房内立上り配管はすべてSUS製保護管を設け、コーキング処理する。

③ 保温工事(HASS P29～P41による)

- 給水、排水、ドレン、消火(グラスウール保温層、屋外はポリスチレンフォーム保温層3号)
- 屋内露出 1 保温材 + 2 + 3
 - 屋内隠ぺい 1 + 2 + 5
 - 床下、ピット 1 + 2 + 3 + 5 + +
 - 屋外露出及び多湿箇所 1 + 2 + 3 + 2 + 10 + 11
- 給湯、蒸気(グラスウール保温層、屋外はポリスチレンフォーム保温層3号)
- 屋内露出 1 保温材 + 2 + 6
 - 屋内隠ぺい 1 + 2 + 5
 - 床下、ピット 1 + 2 + 3 + 5
 - 屋外露出及び多湿箇所 1 保温材 + 2 + 3 + 2 + 10 + 11
- その他
- 煙導 12 + 1 + 2 + 7 + 10 (ロックウール50)
 - 蒸気ヘッド 1 + 2 + 3 + 10 (GW75)
 - 熱交換器、貯湯タンク
 - おひたき、膨張タンク

※注記 ○材料・施工順序詳細

1) 保温材 2) 垂鉛鉄線 3) おひたき/貼または75mm厚フェルト

4) 整形用原紙 5) パロテープ 6) サーマ原紙

7) きっ甲金網 8) アスファルトジョイントテープ 9) アスファルトプライマ

10) 仕上版 11) シール材 12) スタッド溶接

13) びょうまたは接着剤 14) アスファルトフェルト 15) びょう

16) 角当て 17) 接着剤 18) ガラスクロス

○保温層

給排水給湯温水蒸気 15A～50A 20m/m、 65A～125A 25m/m

同屋外露出 15A～20A 25m/m、 25A～100A 30m/m

- 屋外露出の仕上げ板はステンレス板とする。
 - 排水管及びドレン管のピット内及び、屋外露出管の保温は不要とする。
- ④ 防食・塗装工事(HASS P49～P49)
- 鋼管類の土中埋設及びコンクリート埋設は、防食用ビニルテープ(ハーフジョイント)を巻き、とする。
 - 屋外露出の金属はすべて亜鉛亜鉛メッキ、取付けボルトナットはSUSとする。
 - ピットパイプシャフト内支持金具は、サビ止め塗装のこと。
 - 鋼管類のネジ部には全てサビ止め塗装を行う。

⑤衛生設備

- ＜給水設備＞
- 管継手 ●継手は管端防食コアとする
- 量水器 ●観メータ 借用
- 量水器用 ●観メータ用 水道事業者の指定品
- 受水槽のボルトタッパ ●圧力バランス型複式ボルトタッパとする
- 弁類の耐圧 ●水道直結部 JIS(10K)
- その他の部分 JIS(5K)
- 弁類の材質 50以下 青銅製
- 65以上 鋳鉄製(又はステンレス製)
- 引込み納付金など 別途工事
- 屋外給水管の埋設深さは原則として、土被り450mm以上とする。車両通行部は800mm以上とする。
- ＜給湯設備＞
- 給湯系統各タンク、熱交換機、ポンプ廻りに圧力計及び圧力計を取り付ける。
 - 厨房内各立上り枝管は主管取り出しより3曲がり以上のクッションを設け伸縮対応を行う。
- ＜排水設備＞
- 減水試験継手 10箇所に取り付ける。
- 配管材料 ●流しなどの床下露出部分の立上り配管は、ビニル管(VP)とする。蛇腹管は使用してはならない。
- 試験 通水試験及び満水試験を行う。屋外は鏡試験を行う。

※着工30日以内に排水勾配測定用水準器3組(1/50、1/100、1/150)を提出の事。

＜衛生器具設備＞

- 大小便器には標示板を取り付ける。
- 器具取付の際の壁補強は本工事とする。
- 土間又はピット以外に取付の和風便器は耐火型とする。

＜消火設備＞

- 屋内消火栓は艇式とする
- 粉末消火設備は移動式
- 消火器は本工事

＜ガス設備＞

- 液化石油ガス
- 工事は西部ガスエネルギーの責任施工とする
 - ガス容器は 本工事 20本
 - ガスメータは 借用
 - 転倒防止用の鎖、強制気化機は 本工事
 - ガスコックはヒューズ式化栓コックとする。

＜排水処理設備＞

- 処理方法 ●加圧浮上処理+生物処理
- 処理能力 処理水量 151 m3/d
- 水質 流入水 BOD 615 ppm N-ヘキ 120
- 処理水 BOD 360 ppm N-ヘキ 25

＜蒸気設備＞

- 11S溶接士による施工とする。
- 蒸気主管の支持金物はローラー金物とする。
- トラップは全て本工事とし各機器器具のトラップはバランスプレッシャー式(バイパス付)とし、その際バイパス管は不要とする。
- 管末トラップは建設省標準とする。
- 厨房内各立上り枝管は主管取り出しより3曲がり以上のクッションを設け伸縮対応を行う。

＜エア配管設備＞

- エアは勾配(1/200 先下がり)を取り先端に水抜きバルブを設けること。

＜廃油配管設備＞

- 勾配(1/50 先下がり)を取り配管に廃油が滞留しない構造とする。
- 保温は給水に準じて行う。

＜残棄配管設備＞

- 勾配(1/50 先下がり)を取り配管に汚物が滞留しない構造とする。
- 保温は一切不要とする。

＜石鹸供給設備＞

- 勾配(1/150 先下がり)を取り配管に汚物が滞留しない構造とする。
- 保温は一切不要とする。

⑥ 他工事との取合い事項

項目	工事区分
※建築工事	衛生・衛生工事
※電気工事	空…空調工事
別途厨房機器への管又はケーブル接続工事	衛生、電
機器制御盤以降の2次側配線	衛生、空、電
設備用自動制御配線	空
設備用自動制御結線調整	空
埋込器具開口	衛生、空、電
機器の基礎(屋外設置)	建
(屋内設置)	建
(屋上設置)	建

排水溝	建
屋外排水管	衛生
ルーフドレン 雨水立て管	建
立どい以後の雨水排水設備	衛生
ステンレス流し台及びコンロ台	建
ユニットシャワー	建
外壁面取付ガラリ	建
外壁面取付ベントキャップ	衛生、空
埋込器具開口	衛生、空、電
換気扇用取付枠	空
吹出口類取付下地及び補強	建
埋込器具取付下地及び補強	建
湯沸室フード	空
厨房フードの基板	建
消火器	衛生
はめ込み洗面器用カウンター	衛生
化粧鏡	衛生
天井点検口、P.S点検口	建
貫通スリーブ箱入れ	衛生、空、電
同上補遺工事	建
鉄骨スリーブ及び補強	建
煙突	建
コンクリート水槽及びマンホール	建
厨房器具	別
配管等の屋外床貫通部防水収め工事	衛生、空、電
表示関係に必要な接点補助レー供給工事	電
パッケージ室内外連絡配管配線工事(アース線とも)	空
マルチエアコンの張り配線工事	空
パッケージ用リモコン配線	空
全熱交換機リモコン配管	電
全熱交換機リモコン配線	電

給湯器リモコン及びケーブル配線	衛生
ガス遮断弁用遮り線	衛生
エンジンドアー及び制御盤操作スイッチ	建
同上電源送り配管配線工事	建
シャッター及び制御盤操作スイッチ	建
同上電源送り及び操作用配管配線工事	電
警備保障用空配管工事	電
警備保障機器の供給取付並びに配線工事費	別

凡例

—— R ——	給水管(上水)	—— D ——	排水管(ドレン管)
—— X ——	冷水管(往、還)	—— X ——	消火栓管
—— I ——	給湯管(往)	—— A ——	圧縮空気管
—— G ——	排水管(白ガス管)	—— SS ——	蒸気管(高圧)
—— HT ——	排水管(HT管)	—— S ——	蒸気管(中圧)
—— ————	排水管	—— SD ——	凝縮水管
—— ————	汚水管	—— ————	残棄(スラリー)管
—— ————	通気管	—— FD ——	廃油管
—— G ——	ガス管	—— SDP ——	石鹸管
—— I ——	給湯管(還)		
	減圧弁装置(1次～2次一弁)		電動弁装置(電動弁装置)
	(内容は建設省標準による)		(内容は建設省標準による)
	定水位弁装置		トラップ装置
	バイパス管、バイパス管用GV×1、Yスト×1、GV×1、定水位弁		(内容は建設省標準による)

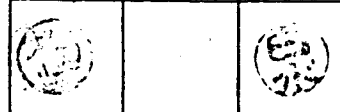
衛生機器表

機器番号	機器名称	機 器 仕 様	電動機			設置場所	組数	備 考
			KW	相	V			
PU-1	市水給水ポンプユニット	赤水対策型ナイロンコーティング片吸込湯型 吐出圧一定(インバーター式) ユニットの口径80φ ポンプ2台自動交互並列運転 1100ℓ/min x3.5mA 制御盤 受水槽満減信号, 空転防止, 故障信号	7.5X2	3	200	ポンプ室	1	基礎200H(建築工事)
T-1	ポンプ室付受水槽	SUS444製 パネル有効60㎡ 2槽式 SUS保温外装共 受水槽部3000x5000x2500Hx2, ポンプ室部3000x5000x2500Hx2 昇降リ付 チャンネルベース(溶融亜鉛メッキ) 耐震2/3G マンホール 2ヶ 内外タラップ 電柱保護 防波板 取付金具及びボルト類はステンレス				屋外	1	基礎(建築工事)
ME-1	自動塩素減量装置	ポーラログラフ方式 指示及び調節減量装置一式 ダイアフラム型差注ポンプ0.06ℓ/min x10Kg/cm cm プレードホース6m 差注タンク 循環ポンプ(SUS65φx1.5KW) 制御盤 一括故障信号 他標準付属品共	0.016 1.5	3	200	ポンプ室	1	参考型番(タクミナ NCL-P1) 基礎200H(建築工事)
DT-1	濃水タンク	SUS444製 パネル有効15㎡ SUS保温外装 1000x1000x1500 架台1300H				ボイラー室	1	基礎200H(建築工事)
B-1	真流ボイラー	換算蒸気量1500Kg/H 実効蒸気量1250Kg/H 808000Kcal/H 伝熱面積9.6㎡ 燃費78.6Kg/H 最高圧力10Kg/cm 燃費器付 連続ブロー装置(熱回収型), 台数制御盤(自動ローテーション, ボイラ間配線共, 目標設定圧±0.2Kg/cm 確保とする) 測速抵抗体 給水流量発信機 ガス流量発信機 減速装置一式(ダイアフラム型差注ポンプ0.03/x10Kg/Hx1台 プレードホース4m 差注タンク200x1	給水ポンプ 2.2 FAN 3.7	3	200	ボイラー室	4	基礎200H(建築工事)
N-1	自動軟水装置	イオン交換樹脂装置 120ℓ 最大通水量8M3/H(133ℓ/min) 再生タンク 塩再生量15Kg/H	0.03	1	100	ボイラー室	1	基礎200H(建築工事)
SH-1	一次蒸気ヘッダー	200φx2100 架台600H 圧力計 温度計				ボイラー室	1	基礎300H(建築工事)
SH-2	二次蒸気ヘッダー	200φx2700 架台600H 圧力計 温度計				ボイラー室	1	基礎300H(建築工事)
ST-1	ストレージタンク(開放型)	SUS444製 パネル有効6㎡ SUS保温外装共 2000x2000x2000H チャンネルベース(溶融亜鉛メッキ) 耐震2/3G 給湯加熱コイル 損失水頭3mA以下 360,000Kcal/H 出口温度60℃ 熱交換器材質:SUS316 蒸気コイル(3kg/cm2) フレッド加熱コイル 1,000,000Kcal/H 周囲温度25℃ (1.5kg/cm2)				ボイラー室	1	基礎500H(建築工事)
HX-1	熱交換器 SUS316製	加熱能力50,000Kcal/H 安全弁 天吊架台(溶融亜鉛メッキ) 蒸気圧3.0kg/cm2(900kg/H) 給湯量500ℓ/min (出入口温度43-60℃損失水頭5MA以下)				ボイラー室	1	天吊り
KP	給湯ポンプユニット	ステンレス製 片吸込湯型 65φx50φx600ℓ/minx30mA 吐出圧一定(インバーター) 自動交互並列運転		3	200	ボイラー室	1	基礎300H(建築工事)
XP-1	屋内消火栓ポンプユニット	多段湯型 x300/x0mA 呼水機100ℓ 過流配管, 0-100℃管, 性能試験配管, 自動 点検装置, FJ, GV, CV, フート弁, 吸込バルブ 自動起動装置(一括警報, 呼水機警報, 受水槽満減信号)		3	200	ポンプ室	1	基礎300H(建築工事)
H-5	屋内消火栓箱	SUS製 火報併設, 消火器BOX(消火器共) 40φ消火栓弁 ホース40φx15m x2本 ホース掛 ノズル 他付属品一式					5	
XT-1	消防用補助水槽	ステンレス製 1000φx1500H 20φB, T 点検口600φ チャンネルベース(溶融亜鉛メッキ)				屋上	1	架台150H(建築工事)
XT-2	消防用水槽(建築工事)	コンクリート製 有効3.0 600φ鋼鉄マンホール				ポンプ室	1	建築工事
KP-1	給湯循環ポンプ	ライン型 25φx30ℓ/minx5mA	0.15	3	200	屋上	1	
H-6	消火器	ABC10号						
H-7	消火器	ABC20号						
H-8	移動式粉末消火設備	露出型 440x280x965H 容器 ホース ノズル 他付属品一式						
WC-1	ウォータークーラー	ステンレス製 容量5ℓ 自動水入れ替えタイプ(タイマー式) プレッシュ型	0.245	1	100	洗浄室 調理室 ホール	4	参考型番(松下電器 CE-P20A)
GW-1	ガス給湯器	屋外壁掛型 32号 4.95kg/H メーンリモコン及びコード共	0.105	1	100	屋外	1	参考型番(TOTO RGH32SVB)
HOT-1	廃油タンク	SUS304製 3.0x1000x1000x1000H マンホール 300 タラップ付 架台500H (溶融亜鉛メッキ) 圧力式油面計				屋外	1	基礎及び防油堤
GT-1	ガソリントラップ	32ℓ SUS304製 蓋(亜鉛メッキ付)				庫内	1	
JP-1	高圧洗浄機	ハンディ型 車付 7.5ℓ/minx25kg/cm ² 標準付属品共(回転ブラシ, 延長ホース20m)	0.4	1	100	備品		
HP-1	工事中用水中ポンプ	100ℓ/minx8mA 水中ケーブル, プラグ付	0.4	1	100	備品		

衛生器具表

衛生器具表			1階					工 場					2 階					屋 外					
			合 計	男子 便所	女子 便所	調理 室 出 入 口	湯 沸 室	前 室 ・ 下 処 理 室	調 理 室	炊 飯 室	洗 浄 室	倉 庫 3	ボ イ ラ ー 室	男子 便所	女子 便所	男子 シ ャ ヱ ヱ ー 室	女子 シ ャ ヱ ヱ ー 室	栄養 指 導 室	配 膳 室	洗 濯 室	屋 上	屋 外	リ サ イ ク ル ハ ウ ス
器具名称	器具型番	附 属 品 及 び 仕 様																					
洋風大便器	C-790	防錆式密結型ロータンクS790B ウォッシュレット TCF771 スタンダードタイプG2 湯風乾燥機付 2連紙巻器 TS116W・他附属品一式	3		2									1									
和風大便器	C-755V	防錆式密結型ロータンクS570B ウォッシュレットW TCE50 2連紙巻器 TS116W・他附属品一式	5	2	1								1	1									
小便器	U307C	USシステムA型 トラップ着脱式ストール 他附属品一式	5	3									2										
掃除流し	SK-22A	リムカバー 横水栓T23AE20 他附属品一式	3	1							1		1										
洗面器	L-525CF	はめ込枠内型（フレーム式） 自動水栓TEL30ARX（単水栓） 他附属品一式	6	2	2								1	1									
洗面器	L237D	壁掛前丸洗面器 自動水栓TEL50BRX（混合栓） 他附属品一式	4			4																	
手洗器	L34	壁掛前丸手洗器 自動水栓TEL30ADRX（単水栓） 化粧鏡TS119ASR1 他附属品一式	16					3	3	2	6		1				1						
水栓	T36S13V39	自在式単水栓（水用） レバー式	10						2	4		2					2						
水栓	T36S13V39	自在式単水栓（湯用） レバー式	10							2	4		2					2					
水栓	T31S13V14	自在式単水栓（水用） レバー式	5							2		2						1					
水栓	T31S13V14	自在式単水栓（湯用） レバー式	5							2		2						1					
水栓	T28A13V8C	自動接手付横水栓（水用） SUS水栓柱共	8							2	6												
水栓	T28A13V8C	自動接手付横水栓（水用） SUS水栓柱共	2							2													
水栓	T28A13V8C	自動接手付横水栓（湯用） SUS水栓柱共	1								1												
散水栓	T28-13	自動接手付 BOX共	5																		5		
ホーム水栓	T200S13	水栓柱共	1									1											1
洗濯機用水栓	TW30SR	横水栓	6							2	2									2			
洗濯機パン	PWP800P		2																	2			
自動手指消毒器		参考型番（アルボースS-2）	12			4		3	3	2													
ジェットタオル	HOT-1000R II	壁掛型 1φ100V	6	2	2								1	1									
ジェットタオル	JT-20BSA	壁掛型 1φ200V	18			4		3	3	2	6												

承認 設計 担当



縮 尺

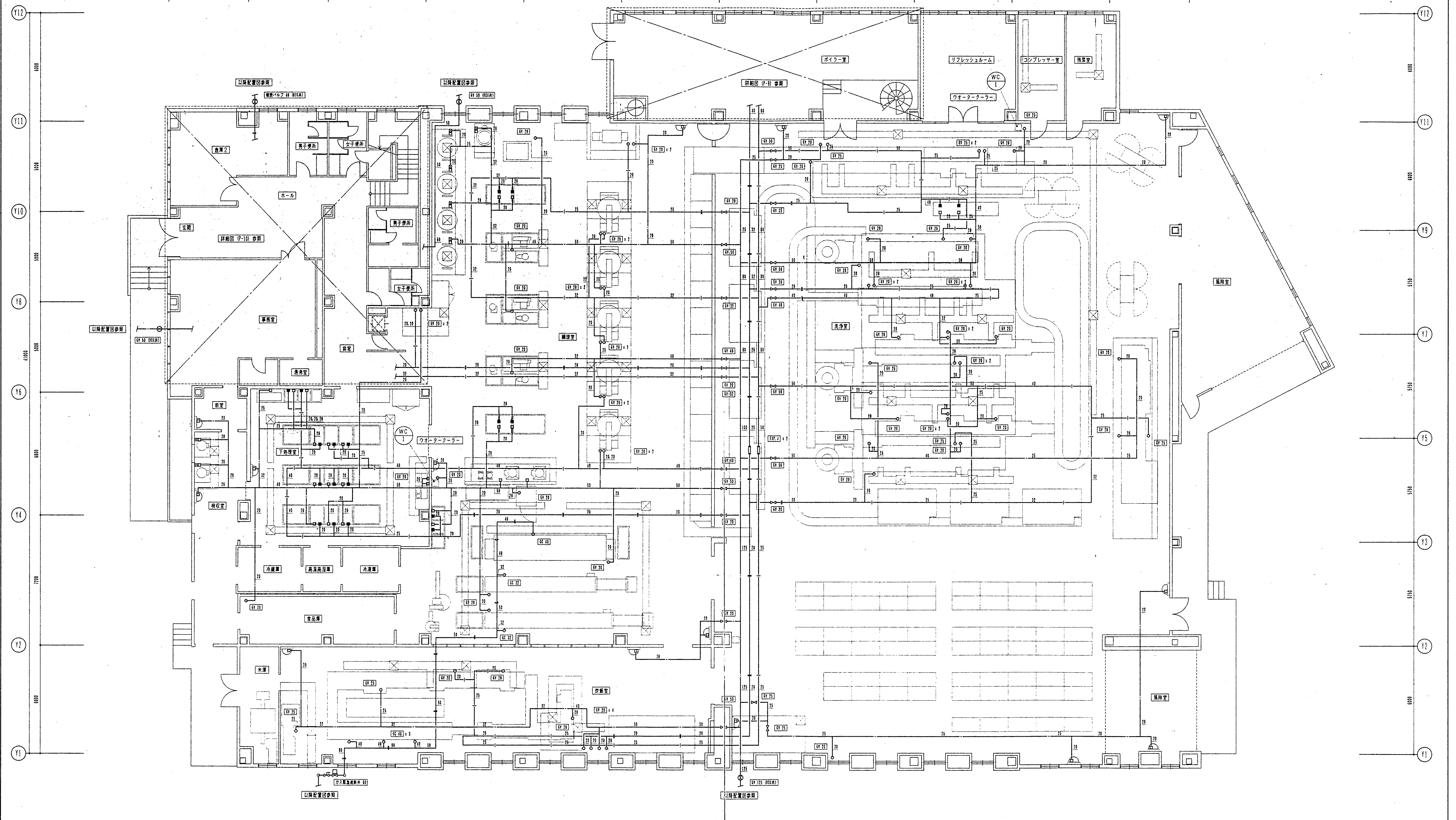
設計年月日

工事名称 古賀町学校給食共同調理場新築工事

図面名称 衛生設備 機器表 器具表

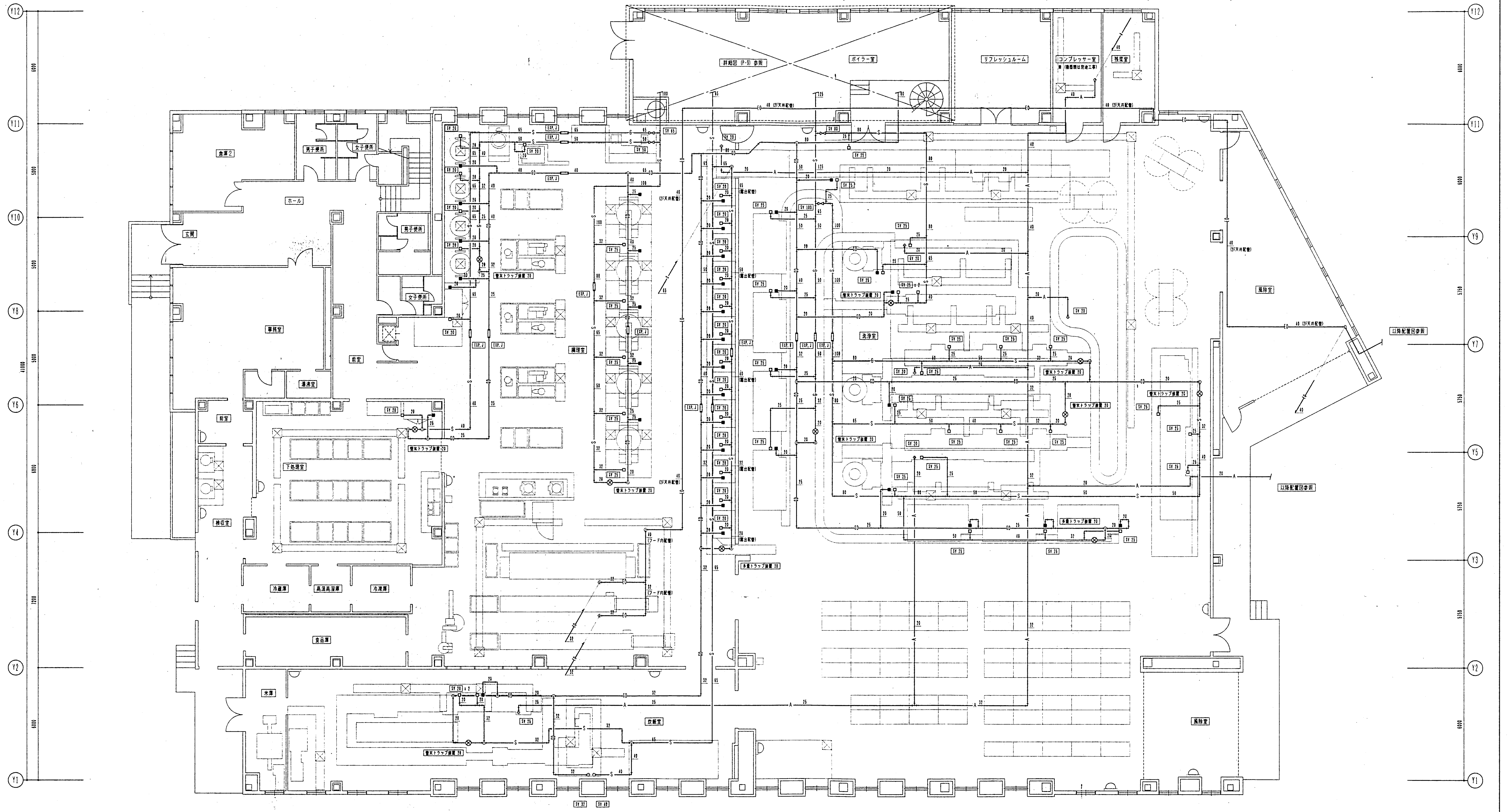
No. P-3

X1 X2 X3 X4 X5 X6 X7 X8 X9 X10 X11 X12
4400 4400 5400 5400 5400 5400 5400 5400 5400 5400 5400 4400



給水・給湯・ガス設備 1階厨房平面図 1:100

X1 X2 X3 X4 X5 X6 X7 X8 X9 X10 X11 X12
4400 4400 5400 5400 5400 5400 5400 5400 5400 5400 5400 4400



蒸気設備 1階厨房平面図 1:100

有限会社アーキプランニング
一級建築士事務所福岡県知事登録第1-66352号
一級建築士登録第 81039号 松崎 威彦

承認 設計 担当
縮尺 1:100
図面名称 蒸気設備 1階厨房平面図

工事名称 古賀市学校給食共同調理場新築工事
図面名称 蒸気設備 1階厨房平面図

特記仕様書																									
1. 工事名称	古賀町学校給食共同調理場建築工事																								
2. 工事場所	粕屋郡古賀町大字篠内字南原680他																								
3. 工事項目	1) 処理槽躯体工事 2) 機械設備工事 3) 電気設備工事																								
4. 工事仕様	特記仕様書に記載する事項の他は、全て該当する共通仕様書（平成7年度版）による 建設大臣官庁官庁営繕部監修「建築工事共通仕様書」 「機械設備工事共通仕様書」 「電気設備工事共通仕様書」（営繕工事） 「機械設備工事標準図」 「電気設備工事標準図」（営繕工事） 1) 工事報告 1. 実施工程表 2. 施工計画書 3. 工事写真 4. 完成図 2) 手続 工事手続上必要な諸官公庁への手続は遅滞なく行う。尚、費用は請負者の負担とする。																								
5. 一般事項	本工事は図面及び特記仕様書に準拠する他、係員の指示に従い施工するものとする。尚、関係官庁に対する必要な手続一切を手落ちなく処理する。 施工に先立ち、関係工事請負業者と充分協議を行い、係員の承認を受ける。 工事完成の上は全設備の検査を受け、その他の許可証、検査証及び竣工図、写真等を添え責任施工とする。																								
6. 排水種別	学校給食排水																								
7. 従属計画	排水計画 <table><tr><td>流入時間</td><td>8時間（8:00～17:00）</td></tr><tr><td>除害施設処理時間</td><td>20時間（10:00～6:00）</td></tr><tr><td>下水道放流排水時間</td><td>8時間（22:00～6:00）</td></tr></table>	流入時間	8時間（8:00～17:00）	除害施設処理時間	20時間（10:00～6:00）	下水道放流排水時間	8時間（22:00～6:00）																		
流入時間	8時間（8:00～17:00）																								
除害施設処理時間	20時間（10:00～6:00）																								
下水道放流排水時間	8時間（22:00～6:00）																								
8. 設計基準	①計画排水量 151 m ³ /日（日最大 165 m ³ /日） ②処理方式 電気浮上装置式除外施設（バイオ菌糸汚泥消化装置付）処理能力 12 m ³ /h <table><tr><td>流入水質</td><td>BOD 615</td><td>SS 615</td><td>N-ヘキサン</td><td>120</td><td>PH 5～9</td></tr><tr><td>計画放流水質</td><td>BOD 600(360)</td><td>SS 600(200)</td><td>N-ヘキサン</td><td>25</td><td>PH 5～9</td></tr></table> 放流水質——下水道基準とする。（ ）値は処理目標水質を示す。 ③ <table><tr><td></td><td>m³/日</td><td>m³/Hr</td><td>m³/min</td></tr><tr><td>日平均汚水量</td><td>151 (165)</td><td>19.0</td><td>0.32</td></tr><tr><td>時間最大汚水量</td><td></td><td>57.0</td><td>0.96</td></tr></table> ④余剰汚泥 バキューム車において場外処分 ⑤処理系統 別紙フローシート参照	流入水質	BOD 615	SS 615	N-ヘキサン	120	PH 5～9	計画放流水質	BOD 600(360)	SS 600(200)	N-ヘキサン	25	PH 5～9		m ³ /日	m ³ /Hr	m ³ /min	日平均汚水量	151 (165)	19.0	0.32	時間最大汚水量		57.0	0.96
流入水質	BOD 615	SS 615	N-ヘキサン	120	PH 5～9																				
計画放流水質	BOD 600(360)	SS 600(200)	N-ヘキサン	25	PH 5～9																				
	m ³ /日	m ³ /Hr	m ³ /min																						
日平均汚水量	151 (165)	19.0	0.32																						
時間最大汚水量		57.0	0.96																						
9. 構造	1) 処理槽は地下式 機械室は地上式とする 2) 各種容量表 <table><tr><td>名 称</td><td>設計実容量 m³</td></tr><tr><td>分離槽</td><td>28.16</td></tr><tr><td>流量調整槽</td><td>148.18</td></tr><tr><td>残滓ピット</td><td>8.3</td></tr><tr><td>第1消化槽</td><td>92.38</td></tr><tr><td>第2消化槽</td><td>27.05</td></tr><tr><td>放流槽</td><td>150.07</td></tr></table>	名 称	設計実容量 m ³	分離槽	28.16	流量調整槽	148.18	残滓ピット	8.3	第1消化槽	92.38	第2消化槽	27.05	放流槽	150.07										
名 称	設計実容量 m ³																								
分離槽	28.16																								
流量調整槽	148.18																								
残滓ピット	8.3																								
第1消化槽	92.38																								
第2消化槽	27.05																								
放流槽	150.07																								
10. 工事細目	1) 本装置は、建築物より排出される給食排水を処理し、放流可能な処理水を得ることを目的としこれに関する工事を施工する。																								

7. 工事区分	A) 槽躯体工事 躯体工事は別紙添付図参照 コンクリート打設後、木コン処理又防水処理の事。 止水板は全打継ぎ箇所とする。（プリジストンスーパーシラント同等品以上とする） B) 機械設備工事 機器仕様書は別紙添付図参照 C) 配管設備工事 硬質塩化ビニール管 VP管 JISK6741 汚水ポンプ吐出管・汚水管・移流管・汚泥返送管・臭気ダクト等 空気管（槽外埋設部） 水道用亜鉛メッキ鋼管 SGPW管 JISG3442 空気管 水道用亜鉛メッキ鋼管+防蝕テープ重ね巻仕上。 （ブロー配管については埋設部より以降をVP管とする） 継手 JIS規格製品使用 弁類 水系統、空気系統 「鋼鉄（要部SUS）製フランジ型（JIS 5kg/cm ² ） 「青銅ネジ込型（JIS 5kg/cm ² ）」 塗 装 槽外の鉄部は防錆下塗後オイルベント2回塗り 機械室内指定色 尚、管支持金物、ボルト、ナット類は全てステンレス鋼（SUS304）とする。 D) 電気設備工事 共通仕様は機械設備工事共通仕様書（H.7年版）第7編第2章に準ずる。 動力設備工事 この項でいう配線工事とは操作盤以降（二次側）のものを示す。 照明設備工事 排水処理の機械室の配管配線工事を行う。 E) 試運転調整 本工事完成後は放流水質安定まで維持管理業者に充分技術指導を行いその機能を充分発揮させるものとする。6ヶ月間に2回施設管理者立会いて流入排水、放流処理水を採取し、その水質検査を公的機関に依頼し、検査結果を施設管理者及び担当員に提出するものとする。 尚費用については本工事に含めるものとする。
別途工事項目	流入管、放流管工事、動力操作盤用1次側電源供給工事、処理施設異常警報工事